

伊藤先生の

街かど診療室

Q & A

眼瞼皮膚弛緩症

1207

があり、眼瞼形成という一つの分野で、専門とされている先生方もいます。そのうち、最も多い症例が、眼瞼皮膚弛緩症です。

まぶたをあげる筋肉は上まぶたの内側にあり、その機能は問題ないのですが、表面皮膚がたるみ、文字通り弛緩して重力に逆らえず、内側のまぶたは上がっているのに表面皮膚が下がっている状態です。この際は、日常生活に支障があるなしのお話を聞き、手術希望の際は余分となっている皮膚を切除し縫合します。少し縫縮する場合もあ

目を開けても開かなく、手で上げると開くようになる」というものです。この際は、日常生活に支障があるなしのお話を聞き、手術希望の際は余分となっている皮膚を切除し縫合します。少し縫縮する場合もあ

美容整形で手術したほうが良いかと問われる場合もありますが、眼瞼の疾患と考えられる場合には、眼科での診療・手術をお勧めします。ただし、皮膚切除などを伴うため、左右のまぶたの形状に差が出る場合も少なくありません。



伊藤 勇

保谷伊藤眼科院長

大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

まぶたが上がりにくくなる状態を眼瞼下垂と一括りに説明する向きもありますが、いろいろなか現象によって視界を狭くし、日常生活に支障をきたす場合には手術をお勧めします。この手術もたくさん種類

筋肉の異常を伴う眼瞼下垂と皮膚弛緩には多くの手術方法で対応している先生を紹介させていただきます。この分野は、学会でも熱く討論されており、昨年参加した日本眼科学会総会での討論の凄まじさに、瞠目したものです。

☎042-439-8123

西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
<http://www.itoganka.com/>

■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術
白内障手術、眼科一般診療

■時間：土曜午後、木・日曜、祝日は休診
※緊急手術は随時対応 ※月・水曜午後は予約優先



	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	○	○	○	○
14:00~17:00	検査子の優先	手術	検査子の優先	手術	手術	手術	手術